

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	横浜市自治会町内会新しい活動スタイル応援事業		
事業の実施者	事業者	特定非営利活動法人まちづくりエージェンツ SIDE BEACH CITY.	
	行政	横浜市市民局地域活動推進課	
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響が続く状況下においても、地域の絆をつなぎ、自治会町内会活動を継続・活性化していくため、ICTを活用した新しい活動スタイルを支援する。		
事業の内容	ICTを活用した会議、情報伝達等を体験する講座の実施、相談対応 等		
役割及び責任 分担等	必須項目	事業者の役割	横浜市の役割
	オンライン会議、LINEその他のツールを使った情報伝達・共有等の体験	<ol style="list-style-type: none"> 1 講座の企画及び実施 2 参加団体との連絡調整 3 会場設営、運営サポート 4 会議ソフトやLINE等の活用方法紹介 5 上記に係る相談及び講座資料の配布 6 参加者アンケートの実施、集計、実施報告書の作成 	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業広報、事業者提案とりまとめ 2 地区連合町内会との連絡調整 3 参加団体募集、とりまとめ 4 講座の企画・実施協力 5 アンケート全体分析
	ICT活用に関連した相談対応	<ol style="list-style-type: none"> 1 相談会の企画及び実施 2 電話・メール等による質問、相談対応 3 相談対応記録の作成 	<ol style="list-style-type: none"> 1 地区連合町内会との連絡調整 2 相談会の企画・実施協力 3 相談事例のまとめ、紹介
	今後のICT活用に向けた提案	ICT活用に向けての課題整理、活用手法の提案	ICT活用に関する今後の支援策の検討
実施期間	令和2年10月12日～令和3年10月24日		

記入日	令和3年 11月 26日
・団体等名：	特定非営利活動法人まちづくりエージェンツ SIDE BEACH CITY.
・記入責任者氏名	山口良介
連絡先：	05053728930
・部署名：	市民局地域活動推進課
・記入責任者氏名	木村 剛・荒木 愛里沙
連絡先：	045-671-3624

2 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

	事業者	横浜市
この事業の目的やミッションを互いに共有し、理解することができたか。	A	A

②事業実施段階

	事業者	横浜市
互いの役割を自覚し、強みを生かしながら、積極的に取り組むことができたか。	A	A
参加者のニーズや事業の進捗に応じて、臨機応変に対応しながら取り組むことができたか。	B	A

③ふりかえり段階

	事業者	横浜市
参加者が満足を得られたかどうかについて、互いに結果を共有し、確認できたか。	B	A
事業目的を達成するため、互いが役割を果たし、期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

3 事業評価相互検証シート

「2 事業実施プロセス相互チェックシート」の結果をもとに相互に本シートを作成し、まとめます。

事業の計画づくり (事業の計画段階で、お互いの認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはありますか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 計画段階では大丈夫でしたが、事業の「実施期間」には難がありました。ただそれはコロナによるところが大きいので予測不可能だったかと思います。
【今後改善が必要と思われること】 上記にも関連しますが、自治会の方が集まれる機会が土日に多く、講座が週末に集中する傾向がありました。よって、実施できる日数の確保が厳しい傾向がありました。よって事業スケジュールに余裕を見る必要があると思いました。
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いの認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 実施した内容に関しては特に思い当たることはありませんでしたが、自治会によってできる、できないの差が大きいと感じました。
【今後改善が必要と思われること】 自治会のスキルによって講座にコース（例えば初心者、中級者など）を設けるなどすると満足度があがったかも知れません。
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、得られた成果はありますか。また、事業全体を通して、当初期待された事業効果は得られましたか)
人件費のサポートをいただいたのは非常に大きいです。普段実施している講座より手厚くできました。参加者目線で見ると、60～70点くらいではないかと思っています。ICTを利用するきっかけづくりという意味では期待された効果は得られたと感じています。
自由記入欄
特になし